



平成31年1月4日 大ホールにおいて。

私たちの理念

心が通い、信頼される医療

私たちのめざす医療

1. 皆さまの権利とプライバシーを尊重します。
2. 十分な説明と同意のもとに、最新かつ安全なチーム医療を行います。
3. 地域に開かれた病院として、健康と福祉の向上に努めます。
4. 確かな医療技術と豊かな人間性を備えた医療人を育てます。

Kurume University Medical Center
久留米大学医療センター

〒839-0863 福岡県久留米市国分町 155-1

☎ **0942-22-6111 (代)**
<http://iryo.kurume-u.ac.jp>

Contents

- 新 年のごあいさつ
介 護予防フェスタに参加しました
転 倒予防川柳
院 内コンサートが開催されました
新 任医師紹介

久留米大学医療センター開設25周年「医療センターの未来」

病院長 廣松 雄治



新年明けましておめでとうございます。

今年は医療センター開設25周年を迎えます。1994年の開設以来、「心が通い、信頼される医療」を理念に、患者さん中心の医療の実践、病診連携を推進し、地域の中核病院として発展してまいりました。医療環境の変化に対応すべく、2015年、久留米大学病院との機能分化を図り、「特色ある医療センター」として、ようやくその成果が実りはじめています。

先進漢方治療センターでは西洋医学をベースに漢方医学を融合した先進的な医療を提供しています。精神科、内科、循環器科、糖尿病・内分泌科、婦人科、泌尿器科、小児科、皮膚科の専門医が漢方医学の専門医を習得し診療に当たっています。整形外科・関節外科センターでは、医師やスタッフを増員して、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟とも連動して、スポーツ傷害の診療の充実を計りました。今では多くのスポーツ選手が受診されています。内分泌代謝内科も眼科と同日に甲状腺眼症の診療を行っています。甲状腺癌、内分泌疾患や糖尿病の診療にも取り組んでいます。足病変(フットケア)・皮膚潰瘍治療外来も長期の入院加療が必要な患者さんの診療にも対応しています。循環器内科ではカテーテル治療から心臓リハビリテーションや心不全の治療、消化器内科では内視鏡検査から肝炎の治療や24時間待ちベッド制など、リウマチ・膠原病センターでは患者さんや多職種のスタッフとの「リウマチの集い」から新薬による治療など、診療の充実を計っています。総合診療科、プライマリ・ケアセンターでは診断がつかずにお困りの患者さんの診療や地域との連携や橋渡し医療にも力を入れています。

プロフェッショナルとしての医療人の育成にも取り組んでおり、多くの実習生の受け入れだけでなく、連携施設でのカンファレンスなどへも積極的に参加しています。

今年も患者さん中心の医療を実践して、皆様に愛され信頼される病院を目指します。「チーム医療センター」として、地域や社会のニーズにあった診療の提供や地域社会への貢献に努める所存です。

引き続き皆様の温かいご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成から新元号への記念の年明けに

看護部長 大塚 まり子



謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年も久留米大学医療センターへのご指導、ご鞭撻のほど直しくお願い致します。今年は「己亥(つちのと・い)」の年、来るべき時に準備を整えている状態」とのことです。当院も今年には創立25周年を迎える年にあたり、未来を見据えた医療を構築すべきと身が引締まる思いです。

看護部は、平成30年度「地域とわかちあう看護の実(親しみ・楽しみ・巧み)」をスローガンにスタッフ同様様々な活動を進めて参りました。昨年も地域の皆様との交流を深めるために、毎年9月に行っている公開講座に「医療センター保健室」を開催し、認知症に関する相談、健康・栄養相談、リハビリ技師によるロコモ体操など等を行い、一昨年より多くの方に参加していただきました。医師の方々の講義もわかり易く、楽しいお話でした。医療者の外来、入院中にはふれあうことのできない一面を感じて頂いたのではないかと感じております。

今年度も看護師全員でONLY ONEの技を磨き、患者さんに満足いただける看護サービスを提供いたします。

地域包括ケアシステムの確立を

事務部長 佐多 慎輔



新年明けましておめでとうございます。

日頃より医療機関の諸先生の皆様には医療センターへのご紹介や連携、地域住民の皆様にはご協力、ご支持をいただき厚く御礼を申し上げます。

さて、地域医療の一翼を担う医療センターとしても地域包括ケアシステムを確立させることが使命のひとつと考えています。

特に高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送れますように医療・介護・福祉の連携を事務部門といたしましてもサポートしていく所存であります。

そのために平成27年4月より久留米大学病院との機能分化(分担)を推し進めてきました。その結果、新しく開設されたフットケア(足病変・皮膚潰瘍治療)・総合診療科・先進漢方治療センターは地域の医療に浸透し11月には地域包括ケア病棟開設、平成29年4月にはプライマリ・ケアセンター開設、10月には地域包括ケア病棟を10床増加させ40床にしました。地域包括ケア病棟は在宅復帰を支援する病棟であり、心も体も元気になって退院していただけたと思います。平成30年10月には看護外来を開設し、安全で思いやりのある医療・看護が提供できるように努めています。

さらに当院の地域との窓口である医療連携推進室では看護師、社会福祉士等を中心にして地域の診療所・介護施設等と連携し、患者さんへの入退院支援、相談窓口業務、患者家族との面談等に対応すべく連携強化に努めております。

引き続き、皆さまのご理解とご指導、ご鞭撻のほど直しくお願い致します。



介護予防フェスタに参加しました

平成30年12月15日(土)、『みんなでつながり支え延ばそう健康寿命』をテーマに久留米市南町にある教育センターで開催されました。

介護フェスタとは

介護予防フェスタとは、地域住民の方が住みなれた地域でいつまでも元気に暮らして行くために、身近な場所で『介護予防』に触れて知って頂けるように、久留米市南地域包括支援センターと地域の介護、福祉事業所、医療機関、福祉施設、薬剤師会、歯科医院が中心となって、企画から準備を行い開催しています。



医療センターは、看護師10名が参加しました



体験・相談ブースの様子



様々な資格をもった医療センターの看護師が、地域の住民や介護を担うご家族に向けて元気に暮らしていただけるように

- ①フットケア(足の観察と転棟予防)
- ②認知症の理解と予防
- ③排便コントロール

について、アドバイスや相談会を行いました。病院から地域に出向き地域住民の方々と楽しく交流することができ、沢山の学びを得ることが出来ました。

地域の方々は健康意識がとても高く、私達の話を熱心に聞かれ、積極的に質問されるなど充実した楽しい1日でした。

私達は、これからも『地域に根ざした病院』を目指し、積極的に地域に出向き地域住民の方々と交流を深めていきたいと思えます。

医療安全管理対策委員会では、平成30年度の医療安全推進週間活動として「転倒予防標語」を職員から募集しました。11月15日から12月6日の期間、表彰作品を外来通路に展示して患者さんやご家族にご覧いただきました。親しみやすい標語を通じて、転倒予防に関心を持っていただき、患者さんの転倒が少しでも減ることを願っております。

転倒予防標語

病院長賞

お手をどうぞ

ここでは私が 杖になります

臨床検査技師

歩行の安定や方向転換、イスや便座からの立ち上がりなどは、ちよつとした支えがあるだけで、動きが楽にできたり、転倒予防に繋がることがあります。病院スタッフの「手」を、患者さんの「体と心の支え」として役立てて頂きたい、という思いを詠んだ標語です。

医療安全管理対策委員長賞

よかやろう

できるやろうが 命とり

作業療法士

転んでしまうと、思わぬ病状の悪化や入院期間の延長につながることもあります。入院生活は、普段の生活とは異なり、いつもは転ばない方も環境が変わることで転びやすくなります。転倒転落予防は、患者さん・ご家族の協力が欠かせません。看護師やリハビリスタッフが注意していただく事、お手伝いする事などを説明しますので、一緒に予防に取り組みしましょう。

リスクマネジメント部長賞

リハビリで

上げる筋力 バランス力

4階東入院棟 看護師

当院は、術後の患者さんや障害をお持ちの方、高齢の方など患者さんの状況に依りたりリハビリテーションを実施しています。一日も早く家庭復帰や社会生活を取り戻せるよう、身体機能の回復や向上を目指して支援いたします。

看護部長賞

ハイリスク

カクンと折れる ヒザ・心

メイカルソーシャルワーカー

「膝折れ」とは…立った時や歩いている時に、どちらかの脚にグッと体重を乗せると膝に力が入らず「カクン」となってしまうことです。危ない！と感じた瞬間には、転んでしまっていることが特徴です。歩く時間が少ないと脚力はだんだん衰えてきます。よく歩く生活をしていても膝を伸ばさないうで歩く、悪い姿勢で歩くと脚力が衰えますので注意しましょう。

事務部長賞

ナースコール

悩まず早めの「SOS」

九州ビルサービス職員

「このくらい大丈夫と思って…」「わざわざ呼ぶのは悪いし…」転倒された患者さんから、このような言葉を伺うことが多々あります。ナースコールをだめらわれる時も、気兼ねなく看護師をお呼び下さい。

院内コンサートが開催されました

平成30年12月22日(土)に、マンマミーア(女性コーラス団体)による院内クリスマスコンサートがエントランスホールにて開催されました。

今年も多くのお客様やそのご家族の方でホールがいっぱいになりました。およそ1時間にわたり定番のクリスマスソングや「リンゴの唄」「ふるさと」「365日の紙飛行機」などを披露して頂きました。

お集まり頂いた患者さん、ご家族の皆様には厚く御礼申し上げます。
また、年末のお忙しい中、準備や片付けなどのボランティアとして参加して下さいました方々、ご協力頂いた皆様に心より感謝致します。



会場の様子

新任医師紹介

平成30年10月より各診療科にて、医師が新しく赴任しましたのでお知らせいたします。
何卒よろしくお願い申し上げます。



オギノ ヒト
氏名：翁 徳仁

役職：助教
診療科：循環器内科



マツオ ユウコ
氏名：松尾 裕子

役職：助教
診療科：内分泌代謝内科

診療科名	月	火	水	木	金
総合診療科	向茂川小 原木恒 圭俊輝 帆	向茂川小 原木恒 圭俊輝 帆 (第1・2)	向茂川小 原木恒 圭俊輝 帆	向茂川小 原木恒 圭俊輝 帆	向茂川小 原木恒 圭俊輝 帆 (第3・4)
プライマリ・ケア	内田信治	内田信治		内田信治	内田信治
消化器内科	杉山元 堀まいさ	緒方啓	杉山元	消化器内科担当医 藤田博正	緒方啓 堀まいさ
循環器内科 (睡眠時無呼吸外来) (脂質異常症外来)	甲斐久史 新山寛 吉村晴 藤村美	甲斐久史 新山寛 吉村晴 藤村美	甲斐久史 新山寛 吉村晴 藤村美	新力武美 寛子仁	加藤宏美 武村晴 美
禁煙外来 月・火 (予約制)	甲斐久史 (午後)	甲斐久史 (午後)			
内分泌代謝内科	廣松雄治 加藤裕子	廣松雄治 加藤裕子	廣松雄治 加藤裕子	廣松雄治 加藤裕子	加藤裕子 全子
リウマチ・ 膠原病センター	中山敏士 島田直	中山敏士 島田直	鮎川竜祐 (再診のみ)	山崎聡士 若杉大輔 吉田直 松田光太郎	中山敏士 若杉大輔 吉田直 松田光太郎
小児科 (専門外来)	大津寧治 升永憲 田中聡子(午前)	大津寧治 山口紀子	大津寧治 升永憲	升永憲 田中聡子(午前)	大津寧治 升永憲 田中聡子(第2午後)
精神科	非常勤医			非常勤医 (もの忘れ外来・初診)	非常勤医
先進漢方治療センター (午前)	(漢方精神科・内科) 恵紙英昭(予約制)	(漢方精神科・内科・産婦人科) 恵紙英昭(予約制) 駒井幹 (漢方小児科) 田中聡子	(女性外来・漢方内科 ・循環器科) 上松章子	(漢方内科) 薬師寺和昭	(漢方精神科・内科) 恵紙英昭(予約制)
(午後)	(漢方精神科・内科) 恵紙英昭(予約制) (漢方小児科) 田中聡子	(漢方精神科・内科) 恵紙英昭(予約制) 沈龍佑(予約制) (漢方小児科) 田中聡子	(漢方精神科・フクロウ外来) 恵紙英昭・田中聡子 (予約制) (漢方皮膚科) 第3・予約制 清川千枝 (恵紙英昭)	(女性外来・漢方内科) 亀尾順子 (漢方泌尿器科) 黒川慎一郎 (漢方小児科) 田中聡子	
整形外科・ 関節外科センター (午前)	大川孝浩 久米慎一郎 石淵幸祐 田橋千直 木内正太郎	本多弘一 江崎佑平 中村秀裕	大川孝浩 後藤昌史 中村秀裕 石橋千	野口幸志 田淵幸祐 木内正太郎 江崎佑平 鈴木康一(予約制)	後藤昌史 久米慎一郎 野口幸志 田淵幸祐
(午後) (予約制)		樋口富士男 (予約再診のみ)	大川孝浩 (第1・3のみ予約制)	野口幸志 田淵幸祐 江崎佑平 木内正太郎 (予約制) 稗田寛 (第2・予約制)	
リハビリテーション科	名護健	荻野美佐	柳東次郎(第1) 馬場敦子(第2・4) 大本将之(第3・5)	大本将之	外来担当医
皮膚科	橋川恵子	橋川恵子		橋川恵子	橋川恵子
泌尿器科			野口正典		
眼科	非常勤医 (午前のみ・完全予約制)			非常勤医 (午前のみ・完全予約制)	
足病変(フットケア)・ 皮膚潰瘍治療外来	井野康	井野康	姉川美奈 (午前のみ)	井野康	井野康
放射線科	非常勤医 (午前) 内田政史 (午後)	内田政史	非常勤医	内田政史	内田政史
病理診断科 (乳腺病理セカンドオピニオン外来)	山口倫 (午後のみ・完全予約制)		山口倫 (午後のみ・完全予約制)		山口倫 (午後のみ・完全予約制)
がんワクチン外来 (午前)		伊東恭悟 由谷茂	由谷茂 内野馨	織田慶子	伊東恭悟 由谷茂 吉山康一 伊東恭悟
(午後)	野口正典	伊東恭悟 野口正 由谷茂	由谷茂 末金茂高 河野光一郎 唐宇飛(隔週)	織田慶子 守屋普久子 大園秀一(第1・3・5) 中川慎一郎(第2・4)	伊東恭悟 由谷茂 吉山康一 伊東恭悟

受付時間：午前8時30分～午前11時 診療日：月～金 麻酔科：術前診療のみ(予約制) 休診日：土・日・祭日・年末年始・盆休(8/15)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
 当院は昨年12月に日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審致しました。
 より良い病院となるよう職員一丸となって日々向上して参りますので、今年も地域の皆様、医療機関
 の皆様からのご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。